

流通ゾーンの機能配置案の比較

	取扱品目別機能配置（第1案）	配送保管機能分離配置（第2案・第3案）
評価項目	5街区に青果部 6・7街区に水産物部	5街区に転配送センター 6・7街区に水産物部、青果部
大規模集散市場としての役割	○ 転配送センターと卸売場が同一街区内にあり、速やかな荷下ろしと荷捌きをすることができる。	○ 転配送センターのスペースは十分確保することができるが、転配送センターと卸売場が同一街区内に配置されていないので、荷をトラックで街区間を移動させなければならない。
効率的な物流の確保	○ 水産物部及び青果部の双方とも卸売場・仲卸売場が平面的に配置されているので、速やかに荷を移動させることができる。 ○ 冷蔵庫や加工施設などの付加価値機能を卸売場・仲卸売場の機能と連携させ、バランス良く配置できる。	○ 水産物部の卸売場が分離しているため、卸売場から仲卸売場への荷の動線が輻輳する。 ○ 本体的機能が6・7街区に集中するため、付加価値機能の配置が、5街区や一定の場所に限定されるという制約が生じる。
市場内交通の円滑化	○ 水産物部の卸・仲卸売場、青果部のそれぞれが独立しているため、車両が他の街区を走行する必要性が少ない。 ○ 水産物部及び青果部の機能が5・6・7街区にバランス良く分散されているため6・7街区間の出入口への過度の集中がない。	○ 6・7街区への施設集中により、場内の基幹導線が複雑化する。 ○ 5街区の転配送センターからそれぞれの卸売場に向かう車両があるため、交通量が増大し市場内交通動線が輻輳する。 ○ 6・7街区間の出入口へ水産物部・青果部からの車両が集中し、円滑な入退場が難しくなるおそれがある。
買出人の買い回りの利便性の確保	○ 平面駐車場も確保することができるので、入退場にかかる時間が短い。 ○ 買出人は連絡通路により、それぞれの街区にスムーズに移動できる。	○ 立体駐車場に駐車しなければならないので、入退場に時間を要する。 ○ 水産・青果の仲卸売場間は、補助315号線高架下の通路を利用するにより、歩行又は車両による買い回りの距離が1案よりやや短縮できる。
増設余地の確保	○ 効率的な施設配置により各街区ごとに増設余地を確保できる。	○ 増設余地は十分確保できるものの、5街区にしかないことから増設内容が限定される。